

十月の天象

太 陽

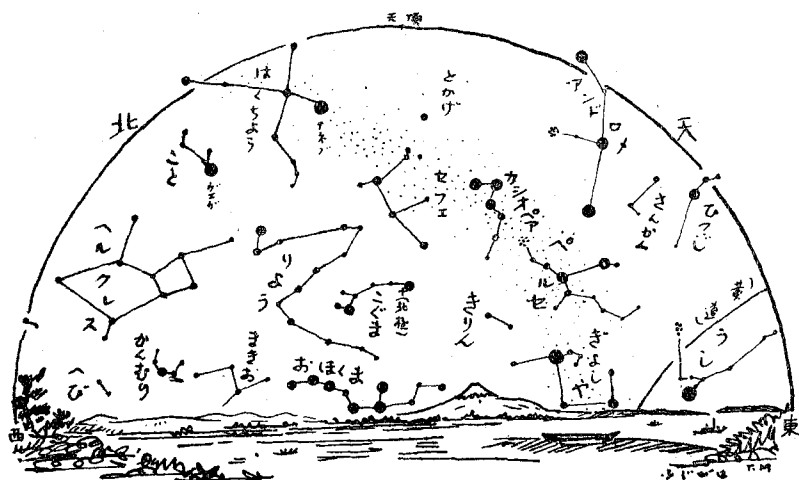
日	赤 経	赤 緯	視直径	星 座
1	12時27分50秒	南 3度 0分	32分 0秒	を と め
11	13時 4分18秒	6度51分	32分 6秒	を と め
21	13時41分34秒	10度32分	32分11秒	を と め
31	14時19分56秒	13度58分	32分17秒	て ん び ん

月始めは天秤宮にあるも、23日に天蝎宮へ侵入する。22日早、日食があるが、吾國からは全然見えす。オーストラリアの中部以東より、南太平洋を横斷して南米の最南部までから見られる。皆既日食である。

月

月の相	時 刻	視 直 径	星 座
満 月	8日午前 3時55分36秒	29分59秒	う を
下 弦	15日午後 2時11分54秒	31分59秒	ふ た ご
新 月	22日午前 6時47分36秒	32分21秒	を と め
上 弦	29日午後 6時22分 6秒	29分39秒	や ぎ
遠地點通過	3日午後 5時54分	29分29秒	や ぎ
近地點通過	19日午後 4時42分	32分47秒	し し
遠地點通過	31日午前11時18分	29分32秒	や ぎ

今月の遊星歴訪は、先づ最初に、8日午前3日に天王星に追ひ付いて、掩蔽を起すのが始まりである。日本から勿論見る事が出来るのであるが、何分月光が強いので、先月同様、大口型望遠鏡を必要として、みすみす一般人士は此の景色を見る事が出来ない。幸ひ此の時月蝕は起るが蝕分が、少なくて、月光を弱めるに至らない。15日午前10時に木星を追ひ越し、同日夜半に火星と出合ひ、18日午後2時に海王星に追ひ付いて、21日午前11時には水星と合つて、その南側1度を通り、24日夜半に金星に追ひ付いて、北側2度を通り、最後に27午前10時に土星に追ひ付いて、その南側6度を通過して、今月の遊星歴訪を終る。



恒星界

桔梗、刈茅、女郎花等の七草が咲き揃つて、吹く風も肌に心地よく、紅に染つた夕映の空が、次第に紫紺の色と代つて、足もとに鳴く虫の音も、秋のあはれを物語る頃、空では「へびつかひ」や「ヘルクス」が西に低く牽牛星や織女星も稍西に傾いて、天上もすつかり、秋景色となつて了つた。

北斗七星は北の地平線に低く、「こぐま」の東には「カシオペア」、「ペルセ」、「さりん」などが並び、東の地平線には既に、プレヤデス、ヒヤデス等が人目を惹ひてゐる。其のお隣には「くら」があり、その驚きの星「ミラ」は、一年近くの週期で變光をなして、昔人を驚かした。南の地平線には「みなみうを」のホマルホウトが君臨し、其の附近には、「つる」、「やぎ」、「いて」等が位置してゐる。

天頂を圍んで、「ペガス」、「アンドロメ」、「はくちよう」等が位し、暫らくすれば、東に「し」、「ぎよしや」等が登つて来る。

「ペルセ」の二重星團や、「し」のプレヤデス、さては「アンドロメ」の大星霧等美しい天體が、吾人の鑑賞するのを待つてゐる。

